

■ 編集後記

令和元年度において、学校教育に関する議論が活発となっています。「大学入学共通テスト」、「高校普通科の見直し」、「プログラミング教育の導入」など、平成に行われた学校教育に変革をもたらされようとしています。これは、児童・生徒の育成を担う学校教育の役割が、幅広い分野から期待されている表れだと考えられます。

このことは、教育を切り口とした地方創生に関しても同様です。本年度より、文部科学省では「地域との協働による高等学校教育改革の推進」事業が開始され、高等学校において、地域課題の解決等の探求的な学びが行われています。このため、地域、自治体、学校との関わりが今まで以上に増え、地域活性化に向けた取り組みが多種多様に行われるようになりました。

また、防災では「自助、共助、公助」、子育て支援では「ネウボラ」、介護では「地域包括ケアシステム」に見られるように、地域社会の課題解決を図るためには、各関係者との連携・協力が望まれています。

今号におけるご寄稿依頼で各地方を訪れた際、ローカル列車を利用しました。どの列車も、外装、内装、車内アナウンス、座席の配列など、実に様々で魅力的でした。もし、どの列車も画一的であれば、魅力は感じられなかったでしょう。今後も、地域の特色を生かしながら地域の魅力を引き出してもらいたいと思います。

本号の特集テーマ「特色ある教育による地域活性化」では、教育の観点から地域活性化に取り組み、ご活躍されている方々から、最新事例を含めご寄稿いただいております。

本誌が、地域のさらなる発展のきっかけとして、ご活用いただければ幸いです。

(井上)

Member (令和元年9月30日現在)

調査役 (副理事長)	青野昌司	研究員	越智信之
所長 (専務理事)	豊田秀樹	〃	井上晋二
特別研究員	水口和壽	〃	平井裕馬
研究部長	野中浩司	〃	宮本廉
主任研究員	坂本清幸	移住コンシエルジュ	徳永瑠衣
研究員	安井良吾	事務員	板垣義男
〃	有木恒利	〃	西本美紀子
〃	玉井伸幸		善家由佳
〃	上本隆弘		